

図書館情報

「読書とは、人間が創造したもっとも価値の高い快楽の1つです」

●お問い合わせ
 本館 73-1616
 清和 82-3033
 蘇陽 73-2755
 休館日：本館・蘇陽(月曜日・祝日・年末年始) 清和(GW・年末年始)



11月のおすすめ図書 読書の秋 拡大版

農作物の収穫も終わり、ほっと一息ついている方も多いのではないのでしょうか。「読書の秋」到来！読み応え、見ごたえある本が図書館にそろいました。秋の夜長にぜひどうぞ！

「自炊男子」

佐藤 剛史(さとう ごうし) 現代書林 分類 913



平凡な大学生イケベタカシは、「食」を大事にする彼女にカッコつけたくて自炊生活を始めます。「食」を通して、人や言葉と出会い成長していくタカシ。そして人生で大切なことに気づいていきます。

「おまえさん 上・下」

宮部 みゆき(みやべ みゆき) 講談社 分類 913



「ぼんくら」「日暮らし」に続く、本所深川のぼんくら同心井筒平四郎が主人公の時代ミステリです。一見バラバラのような事件の結末と、味のある登場人物たちの活躍をお楽しみください。

「転迷-隠蔽捜査4」

今野 敏(こんの びん) 新潮社 分類 913



相次ぐ外務官僚の変死、省庁との軋轢、降りかかる幾多の難問に、堅物で変人と称される大森署署長・竜崎が挑む。大人気「隠蔽捜査」シリーズ第4弾！

「夫婦口論-二人で老いを生きる知恵」

三浦 朱門・曾野 綾子(みうら しゅもん・その あやこ) 育鵬社 分類 914



結婚生活58年の作家夫婦が、縦横無尽に語り合う！結婚・家族・教育・健康法・老い、仕事と人生、日本と世界。老いとは、いかに生きるべきか。

「うまくなる！グラウンド・ゴルフ技術」

ベースボール・マガジン社 分類 783



山都町でも楽しまれている方の多い、グラウンド・ゴルフの本です。ちょっとしたコツをつかんで、もっとグラウンド・ゴルフを楽しみましょう。技術を上達したい方はぜひ一読を！

「手編みであつたか毛糸のざぶとん」

成美堂出版 分類 594



毛糸の恋しい季節がやってきました。今年は可愛らしくてあたたかい「ざぶとん」を編んでみませんか。毎日利用するものも、自分の手作りだとちょっとうれしいのではないのでしょうか。

「決定版！太田潤のアウトドア料理 100」

太田潤(おおた じゅん) 主婦の友社 分類 596



キャンプで、お家で美味しい料理を食べませんか。鉄板やダッチオーブンで、焼いて煮て燻してアウトドアクッキングを楽しみましょう。もちろん、レシピはフライパンでも出来るものも多数掲載されています。

「もう限界!!介護で心がいきづまったときに読む本」

鉦裕和・高室成幸(たたら ひろかず・たかむろ しげゆき) 自由国民社 分類598



在宅介護はどうしても、介護者に精神的不安と負担感が重く乗りかかり、悩みを抱える方も多いと思います。本書では事例を元に、対処法を細かく指導、疲れた心が軽くなる方法を紹介しています。気分転換に、今後の参考にぜひどうぞ。

リサイクルフェアのお知らせ

11月5日(土)から各図書館でリサイクル雑誌などの無料配布をいたします。

詳しくはお近くの図書館までお問い合わせください。たくさんの本を持ち帰る方は、袋などをお持ちください。



9月11日(日) 清和文楽の里まつりにて、ミニミニ絵本カーニバルが開催されました。会場にはさまざまな絵本が飾られ、紙芝居のコーナーや布絵本のコーナーなども展示されました。親子連れも

多く、来場されたみなさんは、布絵本のあたたかな温もりを感じ、エプロンシアターで物語を体験したりと、楽しい時間を過ごされました。

清和文楽の里まつり

ミニミニ絵本カーニバル



パネルシアターで展開される物語に、子ども達は興味津々。低いところから高いところへ水が流れる実験を真剣なまなざしで見つめていました。終わりに、「何のために作られたのか改めてわかりました。」「漆喰を何万回も人の手で押し固めたのがすごいと思いました。」「放水するだけの橋ではないことがわかりました。」「自分たちで守っていかなくてはならないと思いました。」などの感想を発表しました。今も残る郷土の歴史により深く関心を持つ機会となったようです。このような体験は、郷土史を次世代に伝えるとても大事な事です。今後、お二人が多くの方に通潤橋のあらましを伝える機会がもっと増えればと思います。出前授業の内容に興味をお持ちの方は、図書館までご連絡ください。



パネルシアターで展開される物語に、子ども達は興味津々。低いところから高いところへ水が流れる実験を真剣なまなざしで見つめていました。終わりに、「何のために作られたのか改めてわかりました。」「漆喰を何万回も人の手で押し固めたのがすごいと思いました。」「放水するだけの橋ではないことがわかりました。」「自分たちで守っていかなくてはならないと思いました。」などの感想を発表しました。今も残る郷土の歴史により深く関心を持つ機会となったようです。このような体験は、郷土史を次世代に伝えるとても大事な事です。今後、お二人が多くの方に通潤橋のあらましを伝える機会がもっと増えればと思います。出前授業の内容に興味をお持ちの方は、図書館までご連絡ください。

蘇陽小学校3・4年生が出前授業を体験

9月29日(木)

蘇陽小学校3・4年生が通潤橋について学びました。トムソーヤくらぶのお二人が、水の流れるしくみを説明され、また橋が掛かるまでの物語を語られました。



みんな熱心にききました。



トムソーヤくらぶの赤星さん(左)と大林さん(右)